

売春 PROSTITUTION



是認する！

売春とは、金銭などの対価を目的にし、性別を問わず性行為を行うこと(Wikipedia)。
女性だけでなく男性もいるので、「娼婦」よりも「セックス・ワーカー」という呼称の方が好ましい。

自己の視点

他者の視点

自己とは:

?

- 「汚い」
- 欲の支配
- 性という美徳の商品化

- 売春を禁止するべきという判断は「背徳」「女性の権利の保護」という論拠に基づいていると思われる。

他者とは:

世界の売春をしている女性

- 経済原理(需要と供給)
- 貧しいから仕方ない
- 古今東西を貫くニーズ

Cf. 日本以外のセックス・ワーカーは、家族のための働き手の場合が多い。

売春を**認容**することによる事実関係

- 昔の話との類比
- 明治～戦前「公娼制度」について
 - 目的: 軍隊の性病予防(～登録・性病検査を義務)
- フェミニズムと売春防止法
 - 反娼運動～国家による性と生殖の統制(墮胎罪・優生保護法、売春防止法)
- 明治以前の「吉原遊郭」の売春
 - 「自由な場」としての遊郭
- “売春防止法廃止”によるこれから

参考文献

- 藤目ゆき. (1997). 性の歴史学—公娼制度・墮胎罪体制から売春防止法・優生保護法体制へ.
- 門倉貴史. (2009). 「夜のオンナ」の経済白書——世界同時不況と「夜のビジネス」(角川oneテーマ21).